

Photoshop® Quick Master

ver1

2023 補足版

2022 年 10 月 / 2023 年 1 月リリース

- ・当補足版は、Photoshop® 2023（2022 年 10 月および 2023 年 1 月リリース）ユーザーがテキスト「Photoshop® クイックマスター（2021 対応）」を使用した場合の操作内容及び操作説明を補足するものです。
- ・テキスト「Photoshop® クイックマスター（2021 対応）」は、Adobe® Photoshop® 2021（2021 年 2 月、5 月、8 月リリース）と Windows、Mac の両プラットフォームに対応しています。

	バージョン		リリース	対応テキスト	
Photoshop 2021	22.2	(2021)	2021年2月	Photoshop クイックマスター (2021対応)	
	22.4	(2021)	2021年5月		
	22.5	(2021)	2021年8月		
Photoshop 2022	23.2	(2022)	2022年2月	Photoshop クイックマスター (2021対応)	2023 補足版
	23.3	(2022)	2022年4月		
	23.4	(2022)	2022年6月		
	23.5	(2022)	2022年8月		
Photoshop 2023	24.0	(2023)	2022年10月		
	24.1.1	(2023)	2023年1月		

※Photoshop 2023（バージョン 24.1.1）を元に制作しております。

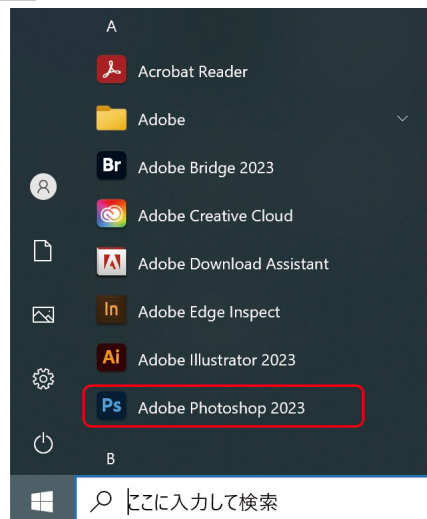
■ P.10 (1 Photoshopの起動 (Windows))

手順
番号

(2021)

(2023)

- 1 [スタートメニュー] から **[Adobe Photoshop 2021]** を選択し、Photoshop を起動します。 → [スタートメニュー] から **[Adobe Photoshop 2023]** を選択し、Photoshop を起動します。



■ P.10 (1 Photoshopの起動 (Mac))

手順
番号

(2021)

(2023)

- 2 《Adobe Photoshop 2021》フォルダー内の **[Adobe Photoshop 2021]** をダブルクリックし、Photoshop を起動します。 → 《Adobe Photoshop 2023》フォルダー内の **[Adobe Photoshop 2023]** をダブルクリックし、Photoshop を起動します。

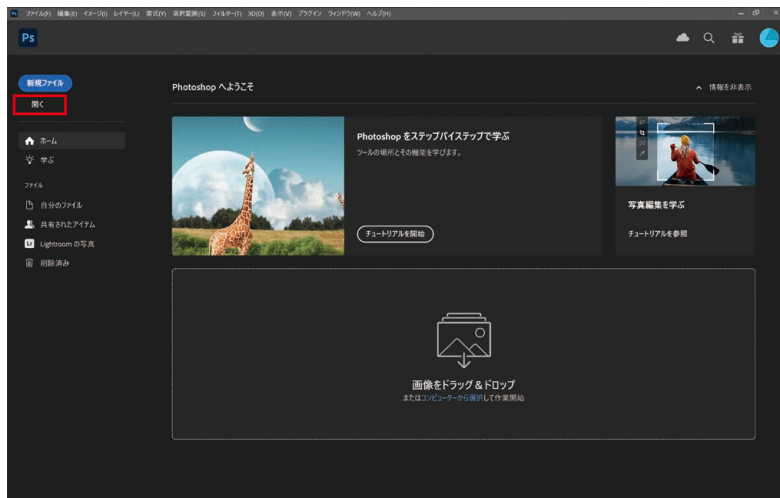


[Adobe Photoshop 2023] フォルダー

■ P.11 (2 スタートワークスペースからファイルを開く)

スタートワークスペースのデザインが変わりました。

(2023)



スタートワークスペース

■ P.12 (3 保存・別名で保存)

Photoshop 2023 (24.1) 以降、ファイルの保存先がデフォルトで Creative Cloud からコンピューター上のローカルに保存されるようになりました。

手順
番号

(2021)

(2023)

1

クラウドドキュメントに保存するか、コンピューターに保存するかを確認するダイアログが表示されます。

ここでは、[次回から表示しない] にチェックを入れ、[コンピューターに保存] ボタンをクリックします。

[名前を付けて保存 (別名で保存)] ダイアログが表示されます。



[別名で保存] ダイアログが表示されます。

以降、[名前を付けて保存 (別名で保存)] ダイアログ→[別名で保存] ダイアログへの読み替えをお願いいたします。

■ P.22 (8 ツールプリセット)

手順
番号

(2021)

(2023)

1

(6行目)

[ツールプリセット] パネルの [現在のツールのみ] のチェックをはずします。



[ツールプリセット] パネルには、あらかじめ多数のツールプリセットが用意されています。

[ツールプリセット] パネルには、あらかじめ多数のツールプリセットが用意されています。

[ツールプリセット] パネルの [現在のツールのみ] をチェックすると、現在選択しているツールのプリセットのみが表示されます。

■ P.25 (Point 詳細ツールチップ)

(2021)

(2023)

ツールバーで各ツールにポインターを合わせると、ツールの説明が動画で表示されます。[方法を見る (Photoshop 22.3 : 詳細)] をクリックすると、詳しいツールの使い方が表示されます。



ツールバーで各ツールにポインターを合わせると、ツールの説明が動画で表示されます。[詳細] をクリックすると、詳しいツールの使い方が表示されます。

■ P.40 (8 オブジェクト選択ツール)

[オブジェクト選択ツール] の被写体の検出と選択の精度が向上し、クリックでオブジェクトが選択できるようになりました。

手順
番号

(2021)

(2023)

2

1羽の鳥を囲むようにドラッグします。

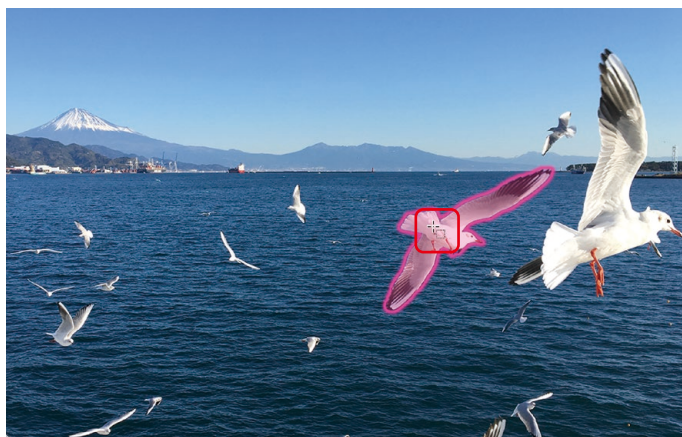
自動的に鳥が識別されて、選択範囲が作成されました。



ポインターを鳥や空に移動すると、ポインターの位置のオブジェクトが自動で認識され、ピンク色で囲まれます。

1羽の鳥の上でクリックしてみましょう。

自動的に鳥が識別されて、選択範囲が作成されました。



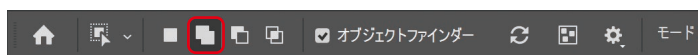
鳥をクリックして選択

3

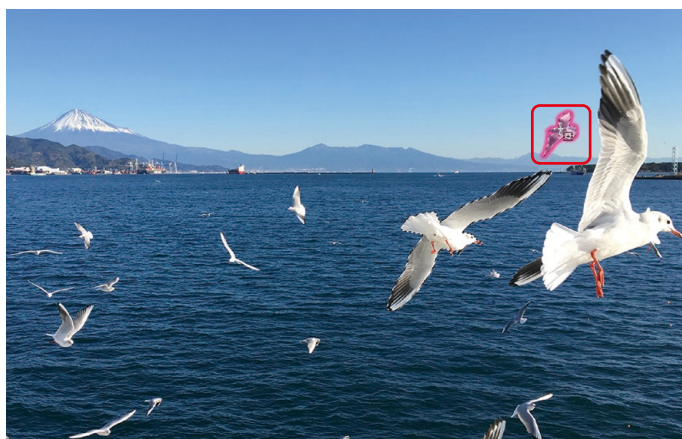
選択範囲に他の鳥を追加してみましょう。
オプションバーの「選択範囲に追加」ボタンをクリックしてから、**「オブジェクト選択ツール」**で他の鳥をドラッグして囲みます。
長方形で囲みづらい箇所は、オプションバーの「モード」を「なげなわ」に設定し、フリーハンドで囲みます。



選択範囲に他の鳥を追加してみましょう。
オプションバーの「選択範囲に追加」ボタンをクリックしてから、**「オブジェクト選択ツール」**で他の鳥をクリックします。



「選択範囲に追加」ボタン



他の鳥を選択範囲に追加

■ P.62 (1 拡大・縮小 / 回転 / ゆがみ / 自由な形に)

5

続いて、メニューバーから「編集」―「変形」―**「自由な形に」**を選択します。
「自由な形に」では、どの方向へも自由に変形することができます。任意の形に変形させてください。



続いて、メニューバーから「編集」―「変形」―**「多方向に伸縮」**を選択します。
「多方向に伸縮」では、どの方向へも自由に変形することができます。任意の形に変形させてください。

■ P.63 (2 遠近法 / ワープ)

手順
番号

(2021)

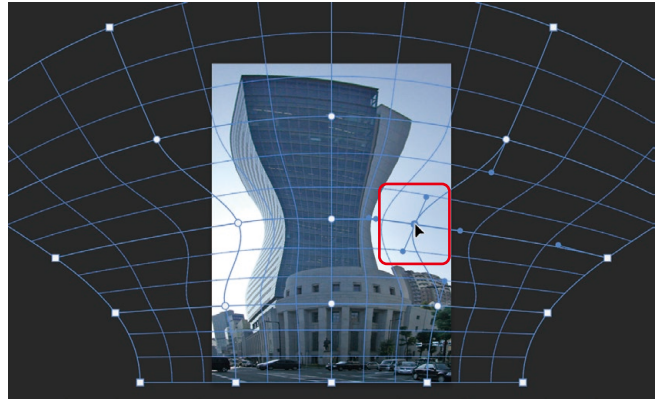
(2023)

6

右図を参考に、アンカーポイント（グリッド線の交点）をドラッグして、さらに変形してみましょう。
「Enter (return)」キーを押し、変形を確定します。



右図を参考に、○または□のアンカーポイントをドラッグして、さらに変形してみましょう。
「Enter (return)」キーを押し、変形を確定します。



アンカーポイントをドラッグして変形

■ P.89 (9 グラデーションツール)

手順
番号

(2021)

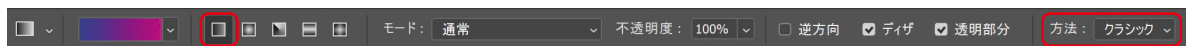
(2023)

3

(3行目)
オプションバーに表示されている5種類のグラデーションから、【線形グラデーション】を選択します。



オプションバーに表示されている5種類のグラデーションから、【線形グラデーション】を選択し、【方法：】を【クラシック】に設定します。



・グラデーション補間オプション

2つのカラー分岐点の間にグラデーションを生成する際のカラーの補間方法は、オプションバーの【方法：】で以下の3種から選択することができます。

知覚的 人間の目に映る自然なグラデーションを作成します。

リニア Illustratorなどのアプリケーションで使用されるグラデーションで、自然光の見え方に近いグラデーションを作成します。

クラシック 従来のPhotoshopで作成されるグラデーションと同じ外観のグラデーションを作成します。

手順
番号

(2021)

(2023)

4

オプションバーの【クリックでグラデーションピッカーを開く】をクリックし、グラデーションピッカーを開きます。



オプションバーの【グラデーションプリセットを選択および管理】をクリックし、グラデーションピッカーを開きます。

以降、【クリックでグラデーションピッカーを開く】 → 【グラデーションプリセットを選択および管理】 への読み替えをお願いいたします。

■ P.105 (4 【コンテンツに応じた塗りつぶし】 コマンド)

Photoshop 2022 までのバージョンは、[コンテンツに応じた塗りつぶし] を使用し、必要に応じて調整が必要ですが、Photoshop 2023 以降、[選択範囲を削除して塗りつぶし] コマンドを使用すると 1 回の操作で不要なものを削除することができるようになりました。

① [なげなわツール] などの選択ツールで削除したい部分に選択範囲を作成します。

② 選択範囲内を右クリックして表示されるメニューから [選択範囲を削除して塗りつぶし] を選択します。

選択範囲内の画像が削除され、選択範囲の周辺の画像になじむように塗りつぶされました。



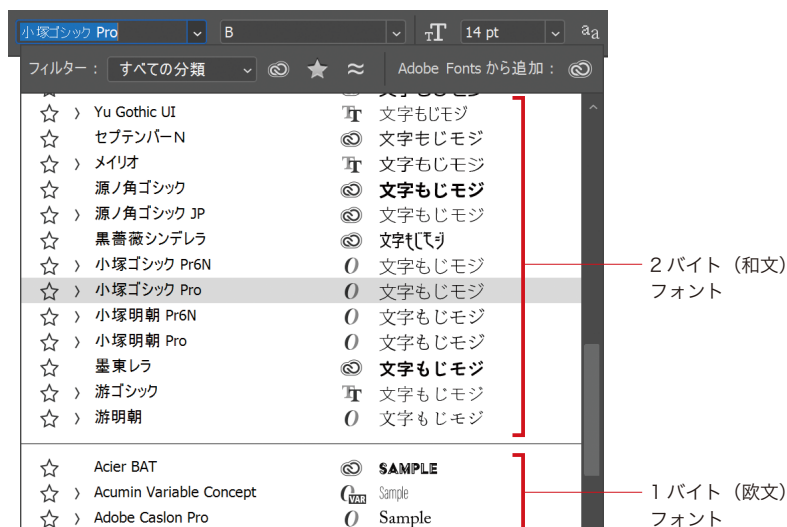
選択範囲を右クリックし、
[選択範囲を削除して塗りつぶし] を選択

■ P.141 (2 フォントの形式)

- ・ Photoshop 2022 以降、PostScript Type 1 フォントは使用することができなくなりました。
- ・ Adobe Fonts は、アドビ株式会社が提供するオンラインのフォントライブラリーで、20,000 種類以上のフォントの中から、必要なときに必要なフォントを追加して利用することができます。Photoshop で PC にインストールされていないフォントを含むドキュメントを開いた場合、Adobe Fonts から自動的にフォントをアクティベートして利用することができます。Adobe Fonts でアクティベートしたフォントを確認するには、[文字ツール] を選択したときのオプションバーや [文字] パネルでフォントの一覧を表示します。



Adobe Fonts でアクティベートした
フォントを示すアイコン



オプションバーのフォントファミリーの例

■ P.150 (2) [シャープ] フィルター ぶれの軽減)

Photoshop 2022 (23.3) 以降、[ぶれの軽減] フィルターが削除されました。[ぶれの軽減] フィルターを使用する場合は、Photoshop 2022 (23.2.2) 以前のバージョンを使用してください。

■ P.161 (10) ニューラルフィルター)

手順
番号

(2021)

(2023)

2

[ニューラルフィルター] の [JPEG のノイズを削除] をクリックします。
[ダウンロード] ボタンをクリックしてクラウドからフィルターをダウンロードします。



[ニューラルフィルター] の [復元] — [JPEG のノイズを削除] をクリックします。
[ダウンロード] ボタンをクリックしてクラウドからフィルターをダウンロードします。



[JPEG のノイズを削除] フィルターを [ダウンロード]

手順
番号

(2021)

(2023)

3

ダウンロードが完了したら、[JPEG のノイズを削除] フィルターを ON にして、[OK] ボタンをクリックします。



ダウンロードが完了すると、自動的に [JPEG のノイズを削除] フィルターが適用されます。 [出力] を [新規レイヤー] に設定して、[OK] ボタンをクリックします。



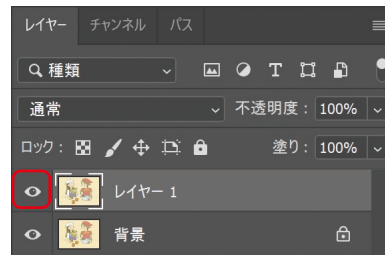
[出力] を [新規レイヤー] に設定

4

[レイヤー] パネルを表示します。
ニューラルフィルターの編集結果は、新規レイヤーに出力されます。
[レイヤー 0] の [レイヤーの表示 / 非表示] アイコンをクリックし、[JPEG のノイズを削除] フィルターの効果を確認してください。



[レイヤー] パネルを表示します。
ニューラルフィルターの編集結果が、新規レイヤーに出力されました。
[レイヤー 1] の [レイヤーの表示 / 非表示] アイコンをクリックし、[JPEG のノイズを削除] フィルターの効果を確認してください。



[レイヤーの表示 / 非表示] アイコン

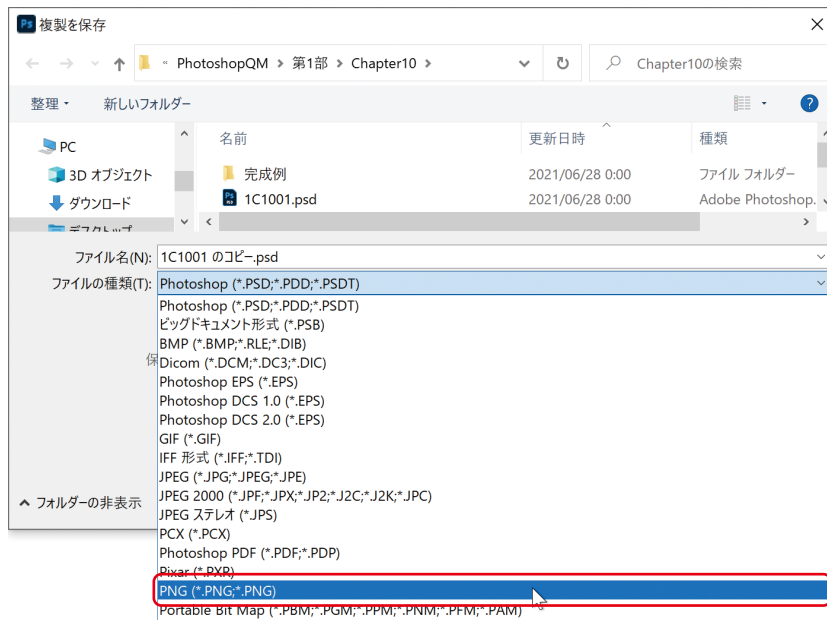
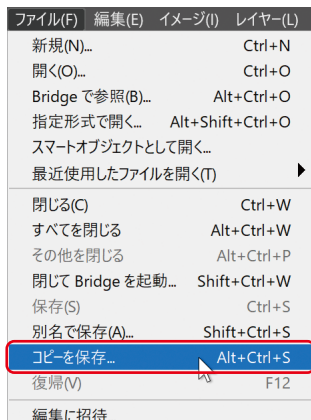
■ P.164 (1 PNG ファイルの保存)

1

(10 行目)
メニューバーから [ファイル] — [別名で保存] を選択します。
[名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。



メニューバーから [ファイル] — [コピーを保存] を選択します。
[複製を保存] ダイアログが表示されます。



[PNG] 形式を選択

■ P.165 (2 BMP ファイルの保存)

手順
番号

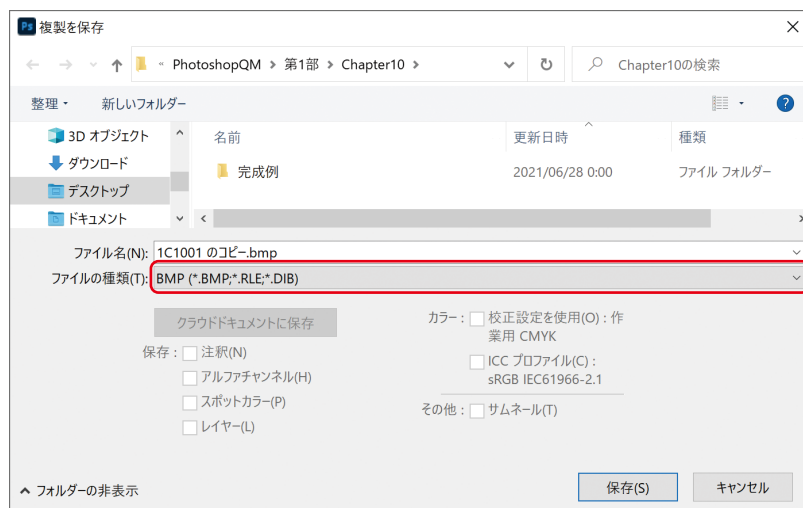
(2021)

(2023)

- 1 (10 行目)
メニューバーから [ファイル] — 【別名で保存】
を選択します。
【名前を付けて保存】ダイアログで、[ファイル
の種類 (Mac : フォーマット)] のプルダウンメ
ニューから [BMP (*.BMP;*.RLE;*.DIB)] を
選択します。



- メニューバーから [ファイル] — 【コピーを保存】
を選択します。
【複製を保存】ダイアログで、[ファイルの種類
(Mac : フォーマット)] のプルダウンメニュー
から [BMP (*.BMP;*.RLE;*.DIB)] を選択し
ます。



[BMP] 形式で保存

■ P.166 (3 EPS ファイルの保存)

手順
番号

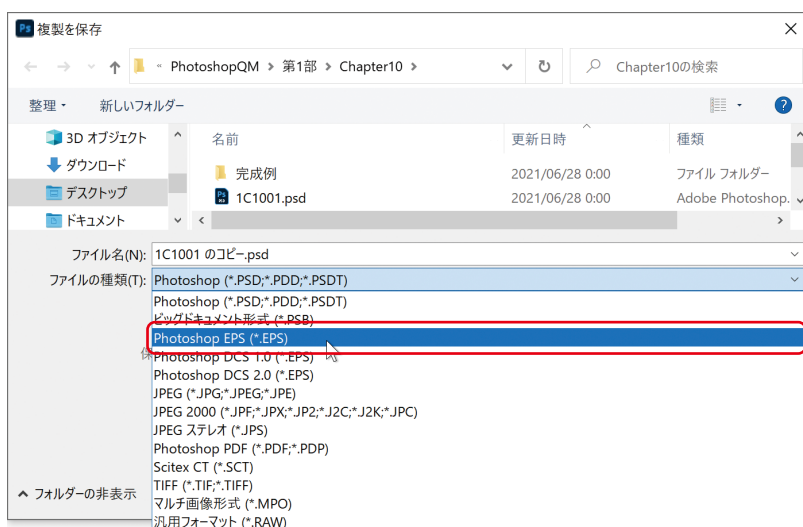
(2021)

(2023)

- 2 メニューバーから [ファイル] — 【別名で保存】
を選択します。
【名前を付けて保存】ダイアログで、[ファイル
の種類 (Mac : フォーマット)] のプルダウンメ
ニューから [Photoshop EPS (*.EPS)] を
選択し、[保存] ボタンをクリックします。



- メニューバーから [ファイル] — 【コピーを保存】
を選択します。
【複製を保存】ダイアログで、[ファイルの種類
(Mac : フォーマット)] のプルダウンメニュー
から [Photoshop EPS (*.EPS)] を選択し、[保
存] ボタンをクリックします。



[Photoshop EPS] を選択

・従来の「別名で保存」を有効にする（22.4.2 以降）

Photoshop 2022 (23.3) 以降、[別名で保存] コマンドでは、レイヤーやアルファチャンネル、パスを保持した状態のファイルを PNG、BMP、EPS などの形式で保存することができなくなりました。[別名で保存] コマンドを使用して、従来通り PNG、BMP、EPS などの形式で保存する場合は、メニューバーから [編集 (Mac : Photoshop)] — [環境設定] — [ファイル管理] を選択し、[従来の「別名で保存」を有効にする] にチェックを入れます。



【環境設定（ファイル管理）】ダイアログ

■ P.229 (Step3 背景画像に配置し、レイヤーマスクを作成する)

手順
番号

(2021)

(2023)

4

(3 行目)

オプションバーのグラデーションピッカーで [黒、白] を選択し、[線形グラデーション] を ON に設定します。



オプションバーのグラデーションピッカーで 【基本】 — [黒、白] を選択し、[線形グラデーション] を ON、【方法:】 を 【クラシック】 に設定します。



